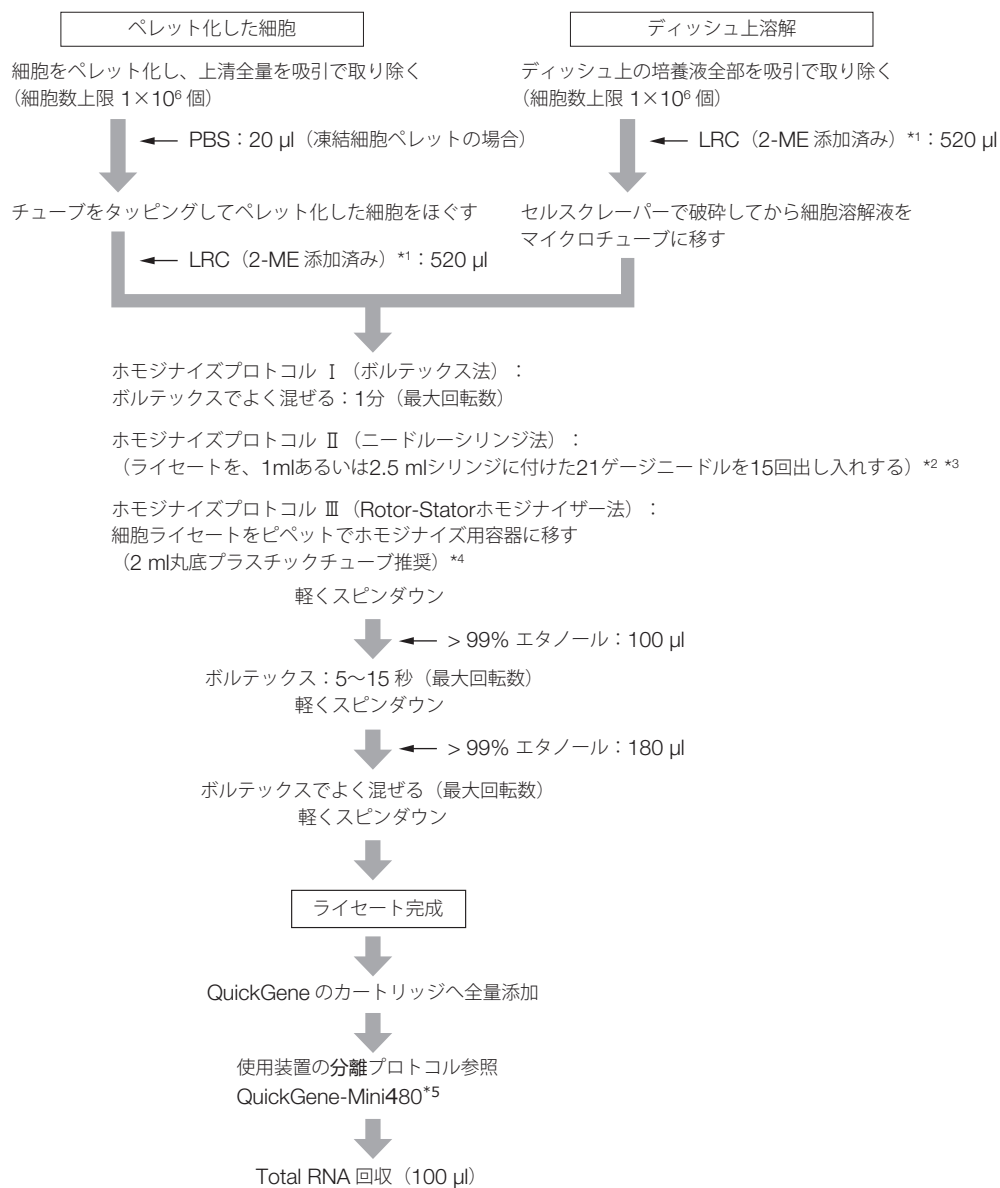


RG-11

NIH/3T3 培養細胞からの total RNA分離 (～1×10⁶個)

プロトコル



*1 2-メルカプトエタノール (2-ME) を使用前毎に必ず LRC に加えてください。
1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加える。

*2 サンプルの泡立ちを防ぐために空気の混入を避けてください。

*3 感染性のサンプルを御使用の時は、ニードルの取扱いには十分注意してください。

*4 ホモジナイズ
条件例: 20,000 rpm、30 秒、2 回
5 mmφ あるいは 7 mmφ プロブ使用。

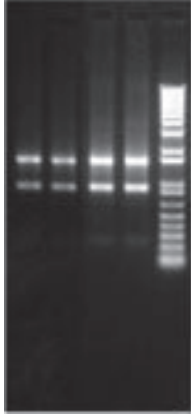
*5 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

電気泳動図

NIH/3T3 (1 ウェル / 6- ウェル プレート (3.5 cm ディッシュ プレート)、6 cm ディッシュ)

1 2 3 4 M



1,2 : 1 ウェル / 6- ウェル プレート (3.5 cm ディッシュ プレート)、
ホモジナイズプロトコル I
3,4 : 6 cm ディッシュ、ホモジナイズ プロトコル II
M : Ready-Load 1kb Plus DNA Ladder : Invitrogen

Total RNA の収量 (DNase 処理あり)

	細胞数	ホモジナイズ プロトコル	Yield (μg)
NIH/3T3	0.3×10^6	I	15.6
	1.2×10^6	II	22.6

タンパク質の混入 : A260/280

	細胞数	ホモジナイズ プロトコル	純度
			タンパク質の混入 A260/280
NIH/3T3	0.3×10^6	I	2.17
	1.2×10^6	II	2.26

カオトロピック塩の混入 : A260/230

	細胞数	ホモジナイズ プロトコル	純度
			カオトロピック塩の混入 A260/230
NIH/3T3	0.3×10^6	I	2.18
	1.2×10^6	II	2.22

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

培養 COS-7 細胞 ($\sim 1 \times 10^6$ 個)、培養 HeLa 細胞 ($\sim 1 \times 10^6$ 個)、培養 HEK293 細胞 ($\sim 1 \times 10^6$ 個)